

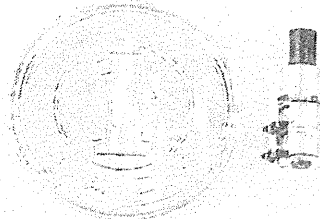
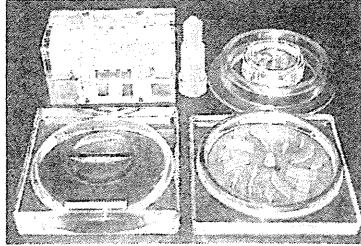
# 医療・バイオ

日本医療機器工業会（東京・文京）とインテリジェント・コスモス研究機構（ICR）は共同で、2、4日に横浜市で開催予定の「第86回日本医療機器学会大会」に、東北6県と新潟県の部品メーカー専用の展示コーナーを設置する。同地域の中小企業と医療機器メーカーとの交流を促し、医療機器分野への参入を支援する。

「医療用機能・要素部品パビリオン」には金型や光学部品製造、金属加

## 東北の部品メーカー

### 医療分野へ技術アピール



広川製作所の高精度の樹脂加工技術（写真上）とアイカムス・ラボのマイクロアクチュエーター（同下）

工メーカーなど東北地方る。医療機器メーカーが・新潟県の49社が参画す 出展する同大会に各社の

技術をアピールできる機会をつくる。同地域には自動車産業などの下請けメーカーが集積しており、医療機器分野への転用を後押しする。

アイカムス・ラボ（盛岡市）が開発した独自原理を用いたマイクロアクチュエーターは各種光学機器のほか、医療・バイオ分野の分析装置などへの活用が期待される。

合成樹脂素材の切削加工を手がける広川製作所（新潟市）は超薄肉加工技術などを活用した精密

## 横浜の大会に展示コーナー

### 医療機器工業会とICRが設置

加工製品を出展。モーター製造のUNO（青森県黒石市）は特殊コイルを用いた小型・高効率コアレスモーターの用途拡大を目指す。

ICRには東北電力など東北地方の有力企業や宮城県などの自治体が出資。医療機器工業会と共同で同地域の中小企業と医療機器産業との交流促進に向け活動してきた。東日本大震災からの復興を下支えする意味合いも兼ねて専用展示スペースの設置を決めた。